



ライラック友の会ニュース

The Japan Lilac Friends Club NEWS

2016年6月30日 発行

全国のライラック友の会の皆様 お変わりなくお過ごしのことと思います。日ごろは友の会の活動にご理解を頂きまして大変ありがとうございます。こちら静岡は梅雨に入っても快晴の毎日でしたがやっと今日から梅雨らしくなってきました、皆さんの所はいかがですか。今年は大きな雨が降らずに梅雨が明けて欲しいものです。健康には十分留意の上、今年も夏を乗り切りましょう。

5月21日～22日

第28回ライラック春のツーリング大会 無事に終了する 長野県南箕輪村

今年のツーリング大会は好天に恵まれて17名の仲間が集い盛大に挙行されました。

おかげさまで1台の故障車もなく、10月の42回ライラックの集いでの再会を約束して帰路に着きました。

決定事項

1. 次期会長

ミーティングを行い、次期会長を遠藤さんをお願いするということが満場一致で決定しました。遠藤さんは地元浜松にお住まいで、人生まだまだ先が明るい若い方です。これからの友の会を引っ張って行って頂ける方です。



会員紹介 今回は北海道函館市の三浦光治さんです。

念願の自動二輪の免許を取得した16歳から十数年が経った頃、視力の悪化によりバイクとの生活を断念せざるをえなくなりなした。それから30年が経ち還暦も過ぎたある日、タンデム走行の機会を与えてくれる友人に巡り合いバイクへの思いが目覚めてしまった私です。間もなく自分のバイクが欲しくなりタンデムでも運転の負担の少ないバイクを手に入れたものの近年のバイクに何か物足りなさを感じていました。バイクの集まりに参加した時、旧車と呼ばれる車両の質感・エンジンの鼓動感・懐かしい排気音などに触れたことで求めていたバイクはこれだと気付かされたのです。50年も前に水平対向500ccの実車を見てライラックのスポーティーさとシャフトドライブに魅了された思いがありライラックを第一希望とし、取り回しが楽だろうと250cc以下を探し始めたところ昨年の秋にUY-II型との出会いがありました。仲間と向かえたUY-II型はタンクとマフラーは修理と再生・・・、エンジンはかかるがキャブや電気系の修理・・・ひび割れタイヤの交換・・・が必要との結論に至り、走る状態へ仕上げることへの期待が膨らんだと同時に大きな不安も湧いてきました。そこでライラックの資料等を探し始めライラック友の会を見つけたのです。早々に日置会長へ連絡を取らせて頂きましたところご親切丁寧に修理への対処策のご指導を受けたばかりでなく、入会許可まで頂くことができました、たお陰を持ちましてタンデム走行を夢見る楽しいバイクライフが始まりました。現状としましては再メッキを済ませたエキパイとマフラーは取り付けましたがタンクは仕上がり待ちなのでタンクとサドルが外れている状態で、エキパイとマフラーだけがピカピカツルツルで目立っているそうです。タンク取り付け後も走れるまでには、多くの箇所の修理と多くの困難が待っているのではと思われます。友の会会員皆様のアドバイスやお力を賜りますれば幸いです。



レストア完了したUY-II号



友の会からのお知らせ

☆C81のピストンあります

☆LS38/18のストップランブ
あります
一式で1万円(送料は別途)

必要な方は友の会日置さん

